

貸借対照表  
2026年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,196,606,062	流動負債	162,430,290
現金及び預金	295,270,342	買掛金	145,571,927
預入金	713,294,115	未払金	4,588,970
売掛金	167,806,685	未払費用	31,693
前払費用	931,720	未払法人税等	12,237,700
未収入金	19,303,200	固定負債	-
固定資産	178,603,038	負債合計	162,430,290
有形固定資産	177,913,945	(純資産の部)	
構築物	177,913,944	株主資本	1,212,778,810
工具、器具及び備品	1	資本金	160,000,000
無形固定資産	-	資本剰余金	-
投資その他の資産	689,093	利益剰余金	1,052,778,810
繰延税金資産(長期)	689,093	利益準備金	-
		その他利益剰余金	1,052,778,810
		繰越利益剰余金	1,052,778,810
		純資産合計	1,212,778,810
資産合計	1,375,209,100	負債・純資産合計	1,375,209,100

# 個別注記表

(自 2025 年 4月 1日 至 2026 年 3月 31日)

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産（リース資産を除く） 定額法によっております。

耐用年数は以下のとおりであります。

構築物 15年

工具、器具及び備品 4年

- ・無形固定資産（リース資産を除く） 定額法によっております。

耐用年数は以下のとおりであります。

ソフトウェア 5年

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用することとしております。

### (2) 繰延資産の処理方法

- ・設備改造負担金は、支出時に全額費用として処理しております。

### (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ・消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の数 普通株式 16,000株

## 3. その他の注記

### (1) 圧縮記帳に関する注記事項

蒸気供給設備のうち、国庫補助金による圧縮記帳額は

1,638,223 千円であり、貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。

### (2) 当期純利益金額

72,707,712 円